

生活交通ネットワーク計画(案)
(地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統関係)

平成24年 月 日

五泉市地域公共交通活性化協議会
会長 伊藤 勝美

1. 生活交通ネットワーク計画の名称
五泉市地域内フィーダー系統確保維持計画
2. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
<p>五泉市においては、地域の公共交通網としてJR磐越西線が市の北部から東部を通過しており、市内に5つの駅がある。</p> <p>民営バス路線は、五泉地区から新潟市間に1路線、阿賀野市間に1路線が運行されている。利用者は減少傾向にあるものの、冬季には需要が増加するなど、雪国の公共交通網の特性を持ちながら地域住民の生活路線として位置づけられている。</p> <p>また、平成21年度に策定した「五泉市地域公共交通総合連携計画」に基づき、平成22年10月より、ふれあいバス（基幹バス）が村松地区と五泉地区を連絡する1路線、ごせん乗合タクシー「さくら号」（デマンド乗合タクシー）が、市内全域（五泉東エリア、五泉西エリア、村松エリア）に導入され、通勤・通学者や高齢者等を中心とした地域住民の生活交通を担っている。</p> <p>これらの背景をふまえ、地域公共交通確保維持事業により、ごせん乗合タクシー「さくら号」（デマンド乗合タクシー）運行を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。</p>
3. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
(1) 事業の目標
ごせん乗合タクシー「さくら号」 <ul style="list-style-type: none">・1日当たりの平均利用者数 213人以上とする・収支率 34.3%以上とする (五泉市地域公共交通総合連携計画の数値目標)
(2) 事業の効果
ごせん乗合タクシー「さくら号」の運行により、市内全域の交通空白地域を解消し、郊外と市街地の移動に利便性・交流性の高い公共交通体系が実現できる。また、ドア to ドアによる運行で高齢者等の外出支援、医療・学校・商業・公共施設等へ移動する際の利便性向上により、地域の活性化が期待できる。

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

6. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」を添付

五泉東エリア	新潟交通観光バス	大関線	五泉駅前バス停と接続
五泉西エリア	新潟交通観光バス	大関線	本町六丁目バス停と接続
村松エリア	加茂市営市民バス	村松駅	バス停と接続

五泉東エリア・五泉西エリアは補助対象地域間幹線バス系統のフィーダー系統
村松エリアは交通不便地域における地域間交通ネットワークのフィーダー系統

7. 協議会の開催状況と主な議論

平成24年1月31日 開催の五泉市地域公共交通活性化協議会において協議を実施。

8. 利用者等の意見の反映

利用者代表が構成員となっている五泉市地域公共交通活性化協議会において協議を実施。

9. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県

新潟県新潟地域振興局企画振興部

関係市区町村

五泉市、新潟市秋葉区、加茂市福祉事務所、阿賀野市総務課

関係交通事業者・
交通施設管理者等

新潟交通観光バス株式会社
蒲原鉄道株式会社
東日本旅客鉄道株式会社新潟支社
泉観光バス株式会社
社団法人新潟県バス協会
みどりハイヤー株式会社
新潟県新潟地域振興局新津地域整備部
五泉市都市整備課

地方運輸局	北陸信越運輸局企画観光部交通企画課 北陸信越運輸局新潟運輸支局
その他構成員	新潟県五泉警察署 老人クラブ連合会 五泉市小中学校PTA連絡協議会 長岡技術科学大学 五泉商工会議所 村松商工会 五泉市商工観光課 五泉市社会福祉協議会 五泉市健康福祉課 日本労働組合総連合会新潟県連合会下越地域協議会五泉支部 五泉市高齢福祉課 五泉市教育委員会学校教育課

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 五泉市太田1094-1

(所 属) 五泉市企画政策課

(氏 名) 本間 泰巳

(電 話) 0250-43-3911

(e-mail) kikaku@city.gosen.lg.jp